

変わらない強い信念を

物質工学科 寮務主事補 松井栄樹

「日野」は推測するに、日野山に由来しているのだろうが、高専に赴任した14年前の遠足が奇しくも日野山登頂であった。運動不足の私にとって、本当につらく、何度も引き返そうと思ったが、学生への教育上の影響を考慮し、見事踏破した。また、校務は寮務主事補をしていた。

あれから時がたち、学生と一回り年が違っていた私も、二回りとなり、いわばお父さんである。学校の教育システムは大きく変わり、エビデンスが求められるようになった。学生の気質も変わり、技術者の基本姿勢を理解させるのに苦勞するようになった。学寮については、生活の場ということもあり、あまり変わっていない気がする。私自身は果たしてどうなのだろうか。研究は20年以上意地で続けているが、今でも踏破できるのか。

技術者、研究者の道に旅立つ皆さんへ、自分の意志で主体的に人生を歩み、社会の中で自己を確立できるよう願っています。また、変化が激しく厳しさが増す世の中で、変わらない強い信念を持ち、希望のもとに自分の可能性を追求してください。